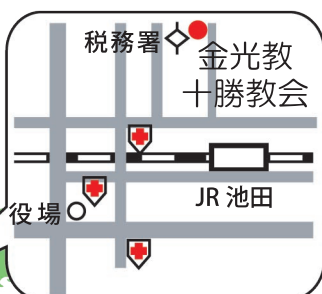


No.75, 2017, Nov.,

11 月・生神金光大神大祭号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213

Facebook「金光教十勝教会」

金光教十勝教会
〒083-0001
池田町旭町 1-9

十勝教会 だより 75



facebook



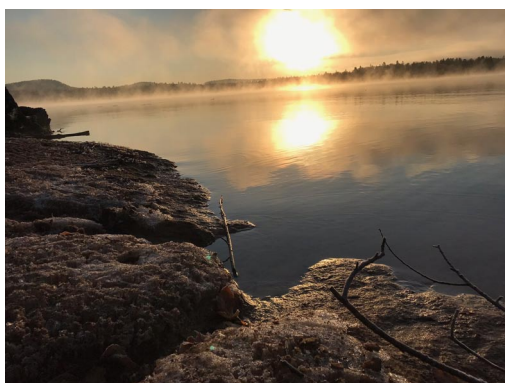
HP(PC 専用)



金光教公式 HP

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

このかた
此方金光大神あつて天地金乃
神のおかげが受けられるように
なった。金乃神は何千年来、悪
神邪神と言われてきたが、此方
金光大神あつて神は世に出たの
である。神からの恩人は此方金
光大神である。氏子としても、
このかた
此方金光大神があればこそ金乃
神のおかげがうけられるように



日に日に寒さが厳しくなってきました。この御大祭を境に本格的な冬がやって来ます。

平成二十九年

生神金光大神大祭を迎えて

金光教十勝教会

なった。氏子からも恩人である。

(理解Ⅱ・近藤藤守の伝え)

だれでも、不幸災難にあつて
困り切っているときに助けても
らったことは、このご恩、この
おかげを一生忘れられるものか
と言うが、日に日に授かつてい
るおかげは、案外みんなしらず
にいる。

(理解Ⅲ・尋求教語録)

平成 29 年、北海道はもまもな
く冬を迎えようとしています。

この秋も本部広前を皮切りに
全国の教会で秋の御大祭・「生神
金光大神大祭」が仕えられてい
ます。

○ 教祖・金光大神様が天地金乃神様の願いを受け、家業である農業をやめ、御神前で取次に専念されるようになったのは安政六年のことです。

その当時、教祖様が信仰されていた神様は「金神^{こんじん}」とよばれる土地や方角に関わる神様で、金神様の禁忌^{きんぎ}、特に日取りや方角を破ると祟りがあると恐れられていた神様です。実際、教祖様も住宅の建築などで金神様の禁忌に触れ家族を亡くし、自らも大病を患っていました。

○ しかし、教祖様が信仰を深めるにつれ、「金神」と呼んでいた神様は、実は「もっと大きな神様」の一部分であったに過ぎないことが分かってきたのです。それこそが「天地金乃神様」であり、「金神」とは天地金乃神様の「怖い部分」のみを見ていたに過ぎないことに気づかれました。

○ 天地金乃神様は別名「日天四^{にってんし} 月天四^{がつてんし}、丑寅^{うしとら}未^{ひつじ}申^{さる}鬼門^{きもん}金乃神」という長い名前をお持ちです。この名が示すように、教祖様は「天地金乃神様は、

日（太陽）、月（汐の干満＝生死）、金神（土地）を司る神様であり、私たちが暮らす天地そのものの、いのちの働きそのものが神様だ」ということを悟られました。

そして教祖様は、この太陽や大地に代表される人の力が及ばない天地の恵やお働き、そしていのちの働きについて、「私たちは、どれほどこのお働きを『ありがたい』と思っているのか」を問われたのです。

誰が頼むでもなく毎日昇る太陽、けっして消えることのない大地、生物を潤す雨等々、天地のお働きはそのどれか一つが無くなっても私たちの生活は成り立ちません。

毎日目が覚める、自分の意志で止まれとか、動けとか操れないにもかかわらず、一瞬たりとも休まない心臓はじめ臓器の働き、それらがあつて私たちはちゃんと生きていくことができる。

天地やいのち、そういう働きがあつてはじめて生きていける私たち。その働きにどれほどお礼を言っているでしょうか。

そのことに気づかれた教祖様は、私たちを生か

し育む神様のお働きを「神様のおかげ」と表し、私たちは「神様のおかげの中に生かされる氏子」であり、そのことを「常にかける」よう説かれました。それが私たちがいただいている金光教の信心の基礎になっているところです。

ですから教祖様の説かれた信心は、水垢離ごりをしたりお百度参りをしたりということではありません。日に日に「神様のおかげの中に生かされる氏子であることを心がけ」、天地やいのちの働きなど、「私たちを支えてくれる働きへのお礼の心」を育てていくことが信心なのです。



教祖様がお亡くなりなられて今年で百三十四年が過ぎました。教祖様はお亡くなりになりましたが、教祖様の御信心は今も色あせることなく残っています。今を生きる私たちが、教祖様の代わりに神様へのお礼の信心〓お礼の心を育てていきましよう。

教会 日 誌

平成29年8月1日から11月5日まで

8月4日

教区少年少女キャンプ「みどりのひろば」、小平町、教会長家族参加、6日まで



- 写 真 - みどりのひろば

今年のキャンプでは金光巨う本部から取り寄せた竹を使った工作などをしました。

8月9日

陸別町I家、奥津城建碑式

8月20日

教会設立記念祭・布教功労者報徳祭・三代教会長一年祭

8月23日

北見市、S家、葬儀式、24日まで

8月26日

士幌町、M家、式年祭



写真

教会設立記念祭（上段上2枚）
布教功労者報徳祭・三代教会長一年祭（上段下2枚、右）

9月2日 北見市、S家、旬日祭

9月3日 音更町、M家、式年祭

9月10日 金光家先祖祭、金光祺正先生五年祭、
みよ子先生参拝

9月10日 士幌町、T家、式年祭



9月16日	北見市、S家、合祀祭・納骨祭
9月23日	札幌市、T家、式年祭
9月23日	秋季霊祭
9月24日	道東地区教会連合会役員会、北見教会、 教会長出席
9月30日	帯広市、M家、感謝祭
10月22日	釧路教会大祭、交流参拝
10月28日	札幌市、M家、建碑式
10月29日	網走教会大祭、交流参拝
11月3日	夕張教会大祭、教会長祭主奉仕、教話 御用
11月3日	北見教会大祭、交流参拝
11月5日	帯広教会大祭、交流参拝

写 真

秋季霊祭

今年も祭典後にはみんなでおはぎをいただきました



十勝教会これからの祭典行事日程

- ・薫別講社生神金光大神大祭 12月5日（火）11時
- ・越年（年末）感謝祭 12月31日（日）13時30分
- ・元 日 祭 1月1日（月）13時30分
- ・薫別講社年頭祭 1月5日（金）11時
- ・信徒会総会 新年会 2月4日（日）11時

（※日程は変更になることがあります）

生神金光大神大祭祭典次第

金光教十勝教会

先「親神のよざしのままに」斉唱

- 一 祭員参向着席
- 一 拝 礼
- 一 神前拝詞奉唱
- 一 取次唱詞奉唱
- 一 祭主祭詞奏上
- 一 祭主玉串奉奠
- 一 天地書附奉体
- 一 参拝者代表玉串奉奠
- 一 金光大神賛仰詞奉唱
- 一 拝 礼
- 一 祭員退下

次 吉備舞奉納「親おもふ」

- 御神伝奉読・講師紹介
- 教 話 札幌教会長

西村正人 先生

かみひと

神人あいよかけよの生活運動

願 い

御取次を願い頂き

神のおかげにめざめ

お礼と喜びの生活を進め

神心となって人を 祈り

助け 導き

神人の道をあらわそう

KONKOKYO
金 光 教

♪親神のよざしのままに♪

- 一、親神のよざしのままに
わが生神 金光大神
取次の道立ちしより
代々を経て 今につづけり
二、神からも 氏子からも
両方の恩人なりと
親神ののらし給える
生神を 讃えまつらん
三、神のひれ 木綿崎山に
照り映えて 日の光なす
取次の道 道の霊光を
とこしえに 仰ぎまつらん

食 前 訓

食物はみな人の命のために

天地乃神のつくり

与え給うものぞ

何を食うにも飲むにも

ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓

体の丈夫を願え

体をつくれ

何事も体が元なり